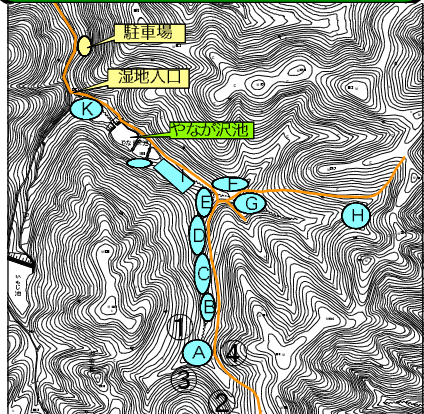


北山だより

北山湿地は、岡崎市自然環境保全条例に基づく自然環境保護区に指定されています。湿地およびその周辺でのすべての動植物の採取等の行為は禁止されています。これに違反した場合は、30 万円以下の罰金が科せられる場合があります。貴重な自然環境の保護にご協力ください。

北山湿地を守る活動



【6 月の作業内容 (20 日(土)9 時 ~ 12 時 (参加 31 人))】①A 湿地北側の旧見晴台撤去と新見晴台設置②A 湿地南側奥の若木の伐採③A 湿地南側見晴台の柵の付け替え④A 湿地被圧植物抜き取りおよびシダ刈り取り⑤希少種調査



前回より始まった A 湿地見晴台の付け替え作業。旧見晴台の撤去も終わり、杭打ちの音が静かな湿地に響き渡ります♣これまでは広いスペースのテラス式でしたが、新見晴台は回廊式に。これにより、湿地内部への出っ張りを少なくして湿地への負荷を減らすとともに、観察者の流れがよりスムーズになります♣



A 湿地南奥にも沢沿いにミズゴケが広がっています。もとはイヌツゲなどがよく繁った薄暗い所でしたが、これらの徐伐により明るくしたところ、ミズゴケが増え、青々としています♣このミズゴケ内に樹木の若木が目立ち始めたことから、これらが成長してからではまた手入れが大変になるので、早めに除去に取り掛かりました♣ミズゴケを傷めないよう、踏み板を敷きながらの作業ですので、移動しづらいのが難点♣A 湿地南側の見晴台に取り付けられた手すりとなる柵。この支柱にプラスチック杭を使用したところ、ロープの張りの強さでしなり、曲ってしまいました♣そこで木杭に付け替え。一見丈夫そうなプラスチックですが、力のかかる方向によっては意外と弱いようです♣一方、湿地保護の会では作業だけでなく、春のギフチョウに代表されるように希少動植物の調査も行っています。この日は昆虫に詳しい一部の会員が、湿地付近の



水辺でトンボの生息状況を調べました♣湿地やその周辺はトンボの宝庫と言っても過言で

触ると刺されそうな、ちょっとグロテスクなこの生き物は？(山綱川で 答えは下の欄外に)

はありません。しかし、昨年岡崎市を襲った稀に見る豪雨の影響か、今回の調査では数が減ってしまったことが気がかりです。



前号でお伝えしました湿地入り口のポストに営巣したオオルリ。無事ひなが巣立ったのが確認されました。ご協力ありがとうございました。今後も巣はそのままにし、新しいアンケート箱を設置します。

《水とみどりの森の駅フォトコンテスト 2009》岡崎市は、水とみどり人ととの共生を題材とした写真を募集しています。【題材】「水とみどり」または「自然と人との共生」をテーマにした自然風景【撮影場所】森の駅、同育成地区、森のポッケ、星空ひろば (詳細は森の駅パンフレットまたはホームページで)【撮影期間】平成 22 年 1 月 31 日まで【作品】カラープリント四つ切単写真 (デジタルカメラ可)【応募締め切り】平成 22 年 2 月 15 日 (消印有効)【入賞】推薦 1 点・特選 1 点・入選 5 点。それぞれ賞状・賞金が贈られる【入賞発表】平成 22 年 3 月中旬頃。森の総合駅 (榎山町) で入賞作品を展示予定【問い合わせ・作品送付先】岡崎市自然共生課森の駅推進班 (福祉会館 5 階 ☎ 23-6921)【その他】募集案内を同課で配布。森の駅ホームページからダウンロードもできます。

【第2回乙川サミット 公開シンポジウム「豪雨から水環境を考える」】昨年の8月末豪雨を踏まえ、河川とのかかわり方を考える。コーディネーターは中日新聞論説委員の飯尾歩氏▼7月30日(木)13時~14時30分▼図書館交流プラザ りぶらホール▼無料、直接会場へ※森の駅8月のプログラムは市政だより7月15日号または水とみどりの森の駅ホームページで。

夏休みは昆虫の世界へ



会場の雨山ダム(昨年の様子)

岡崎市は7月28日(火)より森の総合駅(榎山町)で「おかざき大昆虫展~不思議いっぱい虫の世界~」を開催します。市内で見られる身近なものから、絶滅が心配される希少種、さらに海外の巨大で色鮮やかなものまで、多種多様な昆虫の標本が展示されます。また、カブトムシとの触れ合い、ペーパークラフトなどの体験コーナーも設けられる予定です。

この昆虫展の開催に合わせ、昆虫の権威である農学博士の大平仁夫先生による「森の昆虫教

シマサシガメ(北山湿地)



室」も開かれます。

〈おかざき大昆虫展〉

【期間】8月16日まで 8時30分~17時15分【問い合わせ】森の総合駅(☎82-2511 月曜定休)〈森の昆虫教室〉【日時】8月9日(日)9時~15時【場所】森の総合駅集合→雨山ダム周辺(雨山町)【内容】昆虫採集・観察【対象】小学生以上の親子【定

《自然保護活動者養成講座の

ご案内》岡崎市は、自然環境に興味のある人を対象に、自然保護および保全に必要な基礎知識の修得と、保護活動の中心的活動者の育成を目的とした講座を開催します。【期間】8月27日~10月8日【内容】講義4回、野外講座3回【その他】受講料は無料。詳細は、市政だより8月1日号でご案内後、受付開始。

員】35人(抽選)【持ち物】筆記用具、弁当、飲み物、虫かご、あみ【申し込み・問い合わせ】はがき・ファクス・Eメールで(本紙表面欄外に記載)、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入の上、岡崎市自然共生課自然保護班まで。7月30日必着。

生物多様性を守るために



6月27日(土)、せきれいホール(朝日町)で「岡崎市環境シンポジウム2009~生物多様性を守るためにできること(COP10パートナーシップ事業)~」が開催されました。「生物多様性を考えるキーワード、それは“動的平衡”」と題する、分子生物学者の福岡伸一氏による基調講演のほか、「市民協働で目指す環境共生都市」をテーマに岡崎市環境基本計画推進組織(仮)も参加したりレートークが行われました。参加者は425人。一人一人が生物多様性や市民協働について考え、自分にできることを考えるきっかけになったと思います。

●愛知県はCOP10に向けた県民協働運動として、「身近な生きもの見つけてみよう!」を実施中です。散歩や買い物のついでにできるような簡単な生きもの調査で、いつでも参加できます。「身近な生きもの発見!」ホームページでは、調査票をダウンロードしたり、報告された調査結果を閲覧できます。問い合わせは愛知県自然環境課野生生物グループまで。

岡崎のトンボたち②

ハッチョウトンボ【大きさ18~20mm、成虫出現期5月~9月】日本最小のトンボです。♂は成熟すると全身真っ赤になりますが、♀は焦げ茶・黒・白・黄色のしま模様です。平地から低山地にかけて湧水がしみ出している湿地や湿原、休耕田などに生息しています。いずれも日当たりがよくて植物の多い、深さ数センチ程度の浅い水たまりが広がる環境です。♂は縄張りを持ち、侵入した他の♂を狭い空間の中でめまぐるしく追い払います。

ゲンバイトンボ【大きさ38~41mm、成虫出現期6月~8月】♂の中後肢の脛節が白く軍配状に広がる特異な形をしています。名前はこれに由来します。♂は飛びながら白い肢を広げることで、♀に対して求愛したり、他の♂をけん制したりします。河川中流域で岸边に沈水植物が豊富な、流れの緩やかな清流に生息しています。愛知県では絶滅危惧I B類に指定されました。(文と写真/おかざき湿地保護の会 山本英治)

ハッチョウトンボ♀



ゲンバイトンボ♂♀

